

資機材情報標準化WGの取り組みについて

(一社)日本建設業連合会ICT推進部会
資機材情報標準化WG

2023年2月28日

WG設立の背景

- ・ 建築現場での資機材管理（発注・請求・在庫管理）は、数多くのモノを扱うことに加え、メーカーやリースレンタル会社も多岐にわたることから、現場職員の多くの時間が費やされている。
- ・ (株)野村総合研究所が実施した建築業界における業務・システム実態調査結果において、業界横断で取り組むべき業務として、**80%**以上の企業が「資機材管理」について業界統一したほうが良いと回答してしている。
- ・ 建築業界において、効率化や生産性向上を推進する上でサプライチェーン全体の最適化は非常に重要であり、その実現の為には建築資機材等のモノを特定するための標準化された識別コードは非常に重要な要素であるといえる。
- ・ **RFID** タグ等、資機材管理に有効利用できるツールの低価格化が進み、更には複数のレンタル会社の機器を横断的に管理できるサービスも生まれてきている。

WG設立の目的

建築現場で利用する資機材等の識別コードを標準化し、業界統一とすることで、どのメーカーやリースレンタル会社の資機材を扱ってもデジタルで一元管理できる環境の構築を進める。また、標準化されたコードを有効的に利用することで、建築業界の更なる **DX** 推進に寄与する。

スケジュール・活動予定

2022 年度 WG 発足、2023 年度末まで活動予定

- ・ 標準化する対象資機材の範囲の明確化
- ・ 資機材をデジタル管理する為の最新ツール・サービスの調査
- ・ 建築資機材管理のための業界統一コード体系の整備

※詳細スケジュールは対象範囲によって定める

検討体制

2022 年度より ICT 推進部会及び ICT 推進部会傘下の専門部会の委員で構成し、対象範囲やゴールの明確化を目的に活動を開始

2023 年度からは、新たに ICT 推進部会所属会社から委員を募集し、課題解決に向けて活動

建設工程で想定されるGS1標準識別コード活用

世界中でユニークとなる識別コードが利用可能

GTIN



サプライチェーンでの製品管理
例) 建設部材等の統合管理

SSCC



標準のShippingコード
例) 建設部材の物流管理

GRAI

GIAI

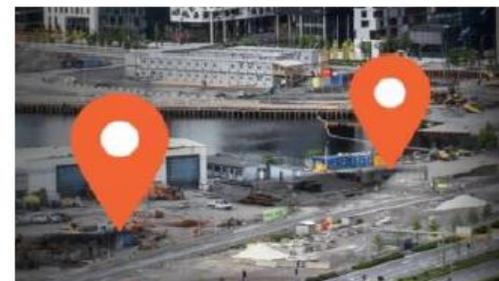


機器/什器等の資産管理
例) 建設機器/物流什器等のレンタル管理

GLN



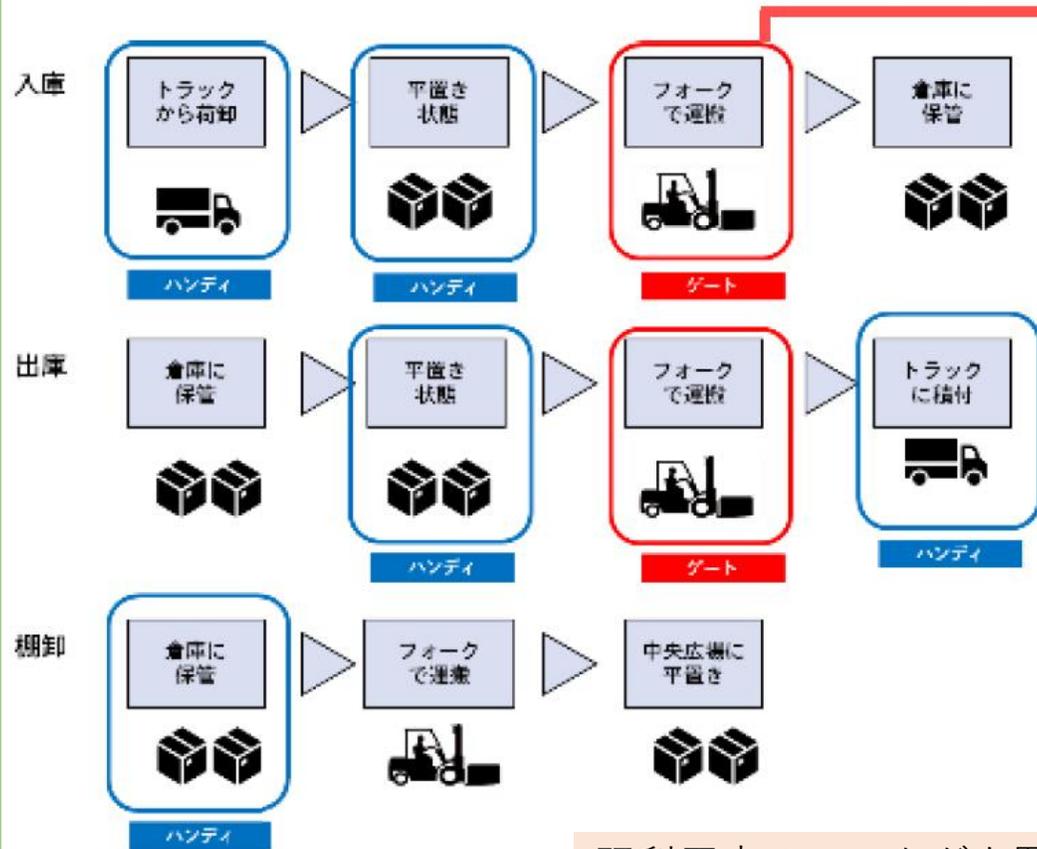
場所・企業の特
例) 建設部材等の納品先特定



例) 建設現場での所在管理

読取り検証の実施例 (建設資機材のレンタル会社様)

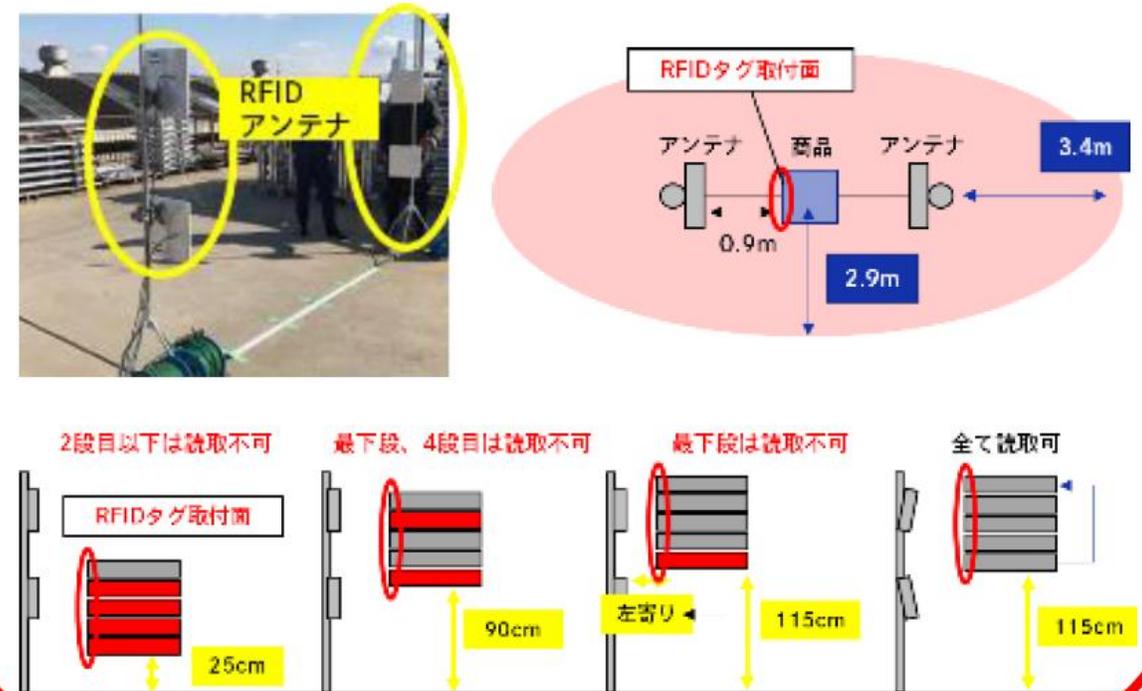
対象業務での読取方法を設定



既利用中のRFIDタグを置き換えることなく、標準化コードとの混在について、マスタ管理方法等の検討も必要。

【ゲートリーダーの検証例】

ゲートリーダーを現地に設置し読取範囲
アンテナの位置・荷物の通過位置による読取を検証



既に展開されているレンタル品管理サービスの例

Arch/在庫管理サービス QRコードによるレンタル品管理

出庫

①納品

②貸出管理

②棚卸管理

③返却引取依頼

返却引取

① アプリからQRコードを発行



② QRコードを読み取って貸出管理・棚卸管理



レンタル品管理をQRコードで効率化

管理責任の明確化による故障・滅失の削減

③ QRコードを読み取って返却依頼



独自のQRコードにて稼働中であるが、本WGとのディスカッションではコードの統一化は歓迎である旨返答を得ている。

ご清聴ありがとうございました

(一社)日本建設業連合会ICT推進部会
ICT推進部会 資機材情報標準化WG

(社名五十音順)

㈱安藤・間	清水 充子
㈱五洋建設	清田 茂晃
清水建設㈱	野村 裕一
大成建設㈱	中谷 晃治
東急建設㈱	平井 康博
東急建設㈱	矢代 彰紀
戸田建設㈱	羽田 正冲
西松建設㈱	有馬 裕樹
西松建設㈱	古城 康彦